

討論の例 「森林を守るう」

「割りばしは必要か」

討論の例をもとに、パネルディスカッションのポイントを押さえますよう。



討論の内容と、討論者（パネリスト）の紹介

【司会者】 みなさん、こんにちは。今、森林伐採による洪水や砂漠化などが問題になっています。このパネルディスカッションでは、「森林を守るう」割りばしは必要か」をテーマに討論を進めていきたいと思ひます。パネリストは、Aさん、Bさん、Cさんです。Aさんから順に、意見をお願いします。

各討論者（パネリスト）による意見発表

【討論者A】 ぼくは、森を守るためには、割りばしの消費量を減らすべきだと考えます。世界各地で、森を守ろうと植林活動が行われています。一方で、木を切つて作られる割りばしは、日本だけでも年間約二百五十億本にもなります。その量を木材に換算すると、二階建ての木造住宅が、約一万棟も建つのです。もつたいないと思ひるので、割りばしの消費量を減らすべきだと考えます。

【討論者B】 わたしは、間伐材を利用する割りばしは必要だと考えます。森を守るためには、苗を植えるだけでなく、手入れが必要です。間伐や枝打ちをしないと、森は荒れて木は育ちません。間伐や枝打ちをすることで太陽が十分当たるようになり、森は育ち、温暖化につながる二酸化炭素を吸収します。割りばしは、間伐した木や枝打ちした木を使ひます。こうした理由から、間伐材を利用する割りばしを使うべきだと考えます。

【討論者C】 割りばしが使ひ捨てであることは、問題だと考えます。燃やして処分するので、二酸化炭素も増え、温暖化につながります。（後略）

討論者（パネリスト）による討論

【司会者】 意見が出そろつたところで、討論に入ります。Bさんは、割りばしを使うべきだと主張しています。Aさんは、その理由をどう考えますか。

【討論者A】 使つている外国産の割りばしが、間伐材ではないことが問題なのです。外国では、木を根こそぎ採つて割りばしに加工し、安い値段で売ります。手間がかかり高価な日本製は売れず、結果的に森は荒れてしまつています。

【討論者C】 使ひ捨てではない物に、間伐材を使う必要があると思ひます。道の駅では、積み木、たな、オルゴールなどちよつとした小物に加工して販売して使ひました。使ひ捨てでないものも、工夫次第で作れると思ひます。（後略）

全体討論 聴衆（フロア）が加わつた討論

【司会者】 会場のみなさんから質問や意見はありませんか。

【聴衆1（児童）】 マイはしを使おうという運動がありますが、その点についてはどうですか。

【討論者C】 ○○食堂に行つて割りばしを使う理由を調べると、「清潔を第一に考えるから。また、マイはしを持参する人はほとんどいない。」という答えが返つてきました。まずは、環境の問題をみなさんに知つてもらひ、意識を変える必要があるのではないでしようか。

【聴衆2（事業主）】 わたしは建築の仕事をしてはいますが、日本のスギやヒノキは値段が高く、外国産を使うことが多いです。日本は人件費も高く、森林を継続して守つていく仕事をする人も少ないので、国産の木材は値段が高いのです。しかし、これではいけない、外国産の木を使わず、地元の木で建てようという推進運動も始まっています。早く育つ木の研究も進められています。（後略）

まとめ

【司会者】 最後に、各パネリストから一言ずつまとめを述べてもらひます。（後略）

【意見発表の例】

主張が相手に分かりやすいように、結論から述べる。

理由や根拠、事例を示して主張する。



司会者は、できるだけ多くの意見が得られるように配慮します。意見が分かれますが、その違いを公平に受け止め、論点の違いを整理して分かりやすく示します。

【討論のポイント】

まず、相手の考えに対する自分の考えを明確に述べる。次に、考えの根拠を具体的に示す。

聴衆（フロア）は、討論者の主張をよく聞いて、その違いを理解します。



分からない点や疑問点を明確にして質問したり、意見を述べたりして、積極的に参加することが大切です。